



S. Okada

THE MBS SHO SWAN STAKES

第67回 MBS賞 スワンステークス (GII)

1着 賞 59,000,000円 24,000,000円 15,000,000円 8,900,000円 5,900,000円
 付加賞 1,218,000円 348,000円 174,000円



レース映像は
こちらでご覧
いただけます。

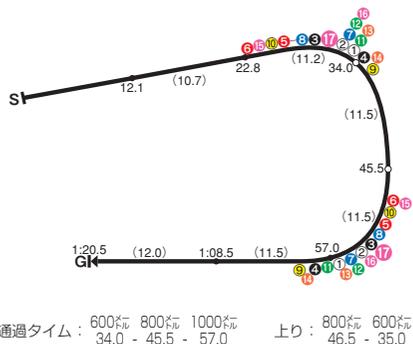
3歳以上、未出走馬および未勝利馬

負担重量 3歳55^{kg}、4歳以上57^{kg}、牝馬2^{kg}減、2023.10.28以降G I競走(牝馬限定競走を除く)1着馬2^{kg}増、
 牝馬限定G I競走またはG II競走(牝馬限定競走を除く)1着馬1^{kg}増、2023.10.27以前のG I競走(牝馬限
 定競走を除く)1着馬1^{kg}増(ただし2歳時の成績を除く)

2024.10.26 京都 曇・良 芝1400m (国産) (種定)

順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑦	ダノンマッキンリー	牡3	55	松山弘平	1:20.5	11-11	34.0	464(-4)	10.9⑤	藤原英昭(栗東)	112
2	⑥	オフトレイル	牡3	55	武 豊	クビ	17-16	33.1	448(+6)	12.5⑥	吉村圭司(栗東)	111
3	⑤	トラヴェスーラ	牡3	57	藤岡佑介	クビ	14-14	33.6	480(±0)	56.2⑭	高橋康之(栗東)	110
4	③	ノーブルロジャー	牡3	55	田口典太	1	4-5	34.8	488(+8)	18.9⑦	吉岡辰弥(栗東)	108
5	⑪	シングザットソング	牝4	55	齋藤 新	クビ	4-4	35.0	440(+2)	23.6⑩	高野友和(栗東)	
6	⑩	ウインカーネリアン	牡7	57	三浦皇成	ハナ	1-1	35.3	512(+2)	8.1④	鹿戸雄一(美浦)	
7	⑭	マテンロウオリアン	牡5	57	横山典弘	クビ	16-16	33.6	474(-18)	203.2⑳	昆 貴(栗東)	
8	⑭	セルバーク	牡5	57	今村聖奈	クビ	7-9	34.6	432(-2)	84.5⑨	鈴木孝志(栗東)	
9	⑨	ダノンスコーピオン	牡5	58	A.シュタルク	アタマ	7-7	34.7	464(-8)	31.8⑧	福永祐一(栗東)	
10	⑫	アグリ	牡5	57	C.テムロ	クビ	2-2	35.4	504(+10)	4.8③	杉山晴紀(栗東)	
11	⑦	バースクライ	牝4	55	岩田望来	クビ	7-7	34.9	496(+4)	84.3⑨	千田輝彦(栗東)	
12	⑩	ピンハイ	牝5	55	高倉 稜	クビ	15-13	33.9	424(+16)	53.9⑫	田中克典(栗東)	
13	④	克蘭フォード	牝3	53	西村淨也	クビ	3-3	35.3	458(+2)	4.1①	杉山晴紀(栗東)	
14	③	キングエルメス	牡5	57	北村友一	1½	12-11	34.8	516(+22)	23.2⑧	矢作芳人(栗東)	
15	⑧	スズハローム	牡4	57	鮫島克駿	アタマ	13-13	34.6	454(+4)	4.8②	牧田和弥(栗東)	
16	①	サームルウィンド	牡4	55	団野大成	4	4-5	36.1	512(-8)	24.0⑩	栗村 武(美浦)	
17	⑫	ジョウショーホープ	牡4	57	幸 英明	ハナ	7-9	35.8	470(-4)	61.2⑪	新谷功一(栗東)	

単勝⑦1,090円(5^{kg}) 複勝⑦400円(6^{kg}) ⑥390円(5^{kg}) ⑤990円(12^{kg}) 枠連③-⑥5,680円(25^{kg})
 馬連⑥-⑦8,530円(29^{kg}) ワイド⑥-⑦2,780円(32^{kg}) ⑤-⑦9,770円(86^{kg}) ⑤-⑥8,380円(76^{kg})
 馬単⑦-⑥15,560円(55^{kg}) 3連複⑤-⑥-⑦195,370円(362^{kg}) 3連単⑦-⑥-⑤836,070円(1,742^{kg})



アラカルト

- ・松山弘平騎手はスワンS初勝利。JRA重賞は本年6勝目、通算47勝目
- ・藤原英昭調教師はスワンS初勝利。JRA重賞は本年2勝目、通算63勝目
- ・モーリス産駒はJRA重賞通算22勝目
- ・3歳馬の勝利は17年サンクレーザーに続く通算12回目
- ・3連復195,370円は同式別における本競走の最高払戻金額
- ・スズハロームは枠内駐立不良[突進]。前扉が破損したため外枠から発走
- ・ダノンマッキンリーはマイルチャンピオンシップ(G I)に優先出走できる

ダノンマッキンリー Danon Mckinley

牡 鹿毛 2021.4.7生
北海道安平町 ノーザンファーム生産
馬主・榊ダノックス 栗東・藤原英昭厩舎
馬名意味・冠名+アメリカの山の名

ホームカミングクイーンIRE系 F9-c

モーリス 鹿毛 2011	スクリーンヒーロー 栗毛 2004	グラスワンダーUSA ランニングヒロイン
	メジロフランシス 鹿毛 2001	カーネギーIRE メジロモントレー
ホームカミングクイーンIRE Homecoming Queen 鹿毛 2009	Holy Roman Emperor 鹿毛 2004	Danehill L'On Vite
	Lagrimon 栗毛 1989	Diesis Wrap It Up

5代までのインブリード：Danzig M4×S5 Northern Dancer S5×M5×M5

INTERVIEW

林宏樹 調教主任(ノーザンファーム早来)

芝1400mがピッタリなのでしょう

NHKマイルCの後は牧場で調整を行って来ました。戻ってきた当初は疲れも見えましたが、順調に回復し、夏の北海道開催では芝のスプリント戦にも挑戦してくれました。ただ、今回のレースからも芝1400mの条件がこの馬にはピッタリなのでしょうね。それだけ強い勝ち方だったと思います。この後はさまざまな選択肢がありますが、GIでの好走も楽しみです。

N.Inaba



昨秋に芝1400mの新馬戦と1勝クラス特別を連勝。3月のファルコンSでも鮮やかな追い込みを決めた本馬だが、続くNHKマイルCは折り合いを欠いて13着に大敗、スプリント戦に矛先を向けた札幌の2戦でも6、7着に終わった。それでも得意の距離に戻ったこの日は本来の末脚が爆発。母は英1000ギニーの勝ち馬、セレクトセルの落札価格が2億2000万円(税抜き)という良血の高馬が、天性の素質を改めて印象付けた。

脚を發揮。内ラチ沿いで逃げ粘るウインカーネリアンを一気に呑み込むと、後方から追い込んだオフトレイル、トゥラヴェスーラの強襲も抑えてゴールに飛び込んだ。

父モーリス

北海道日高町 戸川牧場生産 詳細はP.2参照

母ホームカミングクイーンIRE

英、愛、北米16戦4勝(英1000ギニー^{G1}、愛1000ギニートライアルS^{G3}、シリングライダーS・愛^L、パークS・愛^{G3}2着)、19年輸入

ファーストオブスプリング First of Spring(14 牝父Galileo)北米、仏6戦
3勝(オータムデイズS・米3着)

パークリースクエア Berkeley Square(15 騾父Galileo)愛、カタル43戦
2勝(フューチュリティS・愛^{G2}3着)

(16 不受胎)
ケルティックハイキング Celtic High King(17 牝父Galileo)愛、仏7戦1勝

シェール Shale(18 牝父Galileo)愛、英12戦3勝(モイグレアスタッドS・
愛^{G1}、シルバーフラッシュS・愛^{G3}、デビュタントS・愛^{G2}2着)

ラグランジャンポイント Lagrangian Point(19 牝父Galileo)不出走
アイリッシュパール(20 牝父Saxon Warrior)持込 中央9戦1勝 ㊟

ダノンマッキンリー 本馬(21 牝父モーリス)中央9戦4勝(スワンS^{GII}、フ
アルコンS^{GIII}、秋明菊賞)獲得総賞金121,902,000円

デアマトローナ(22 牝父キズナ)中央2戦0勝 ㊟
カモンメーン(23 牝父エピファネア)㊟

(24 牝父コントレイル)

祖母ラグロン Lagron

アメリカ産 愛0勝

クイーンズロジック Queen's Logic(99 牝父Grand Lodge)英5勝(チェ
ヴァリーパークS^{G1}、ロウザーS^{G2})、全欧2歳牝馬チャンピオン、**レ**

ディオブザデザート Lady of the Desert(ロウザーS・英^{G2})の母、**ピ**

ッグイーヴス Big Evs(BCジュベナイルターフスプリント・米^{G1})、**ク**

イーンカインドリー Queen Kindly(ロウザーS・英^{G2})の祖母

ディラントーマス Dylan Thomas(03 牝父Danehill)愛、北米、英、仏、
香10勝(愛ダービー^{G1}、凱旋門賞・仏^{G1}、キングジョージVI世&クイーン

エリザベスS・英^{G1}、愛チャンピオンS^{G1}2回)、全欧年度代表馬、種牡馬

リメンバーホエン Remember When(07 牝父Danehill Dancer)愛、英
0勝(英オークス^{G1}2着)、**サーペントイン** Serpentine(英ダービー^{G1})、**ウ**

ェディングヴァウ Wedding Vow(キルボイエステイトS・愛^{G2})、**パ**

イバイベビーIRE(ブルーウィンドS・愛^{G3}、輸入繁殖牝馬)の母

ホームカミングクイーンIRE(09 前出)

得意の距離で2つ目の重賞制覇

新星と実績馬が混在。混戦モードに包まれたスワンSは、芝1400m戦を3連勝して初挑戦の重賞へ臨んできたクランフォード、京王杯スプリングC3着、CBC賞2着とタイトルを射程に収めるスズハローム、そして昨年の阪急杯の覇者アグリが4倍台の単勝オッズで人気を分け、中心勢力を形成した。しかし上位を占めたのは感皇候補と目されていた2頭の3歳馬と13番人気の9歳馬。「クビナクビ」の着差で決着した攻防に競り勝ったのは5番人気のダノンマッキンリーだった。

7歳の古豪ウインカーネリアンが一枚上のダッシュで飛び出して先手を奪取。二の脚でスピードに乗ったアグリ

が2番手、クランフォードは3番手のインにつけ、速い流れでレースは進む。ダノンマッキンリーの松山弘平騎手は中団馬群の後方寄りで折り合いに専念。ゲート内で突進した際に扉を破損、外枠発走に回されたスズハロームは後方5番手で反撃の機会を窺った。

坂の下りで間合いを詰めたアグリは、4コーナーで先頭に並びかけて直線へ。これを振り切り、いったんは逃げ込み態勢を築いたウインカーネリアンだったが、残り200m地点を過ぎてから急激に失速し、直線勝負に構えていた面々が一気に襲い掛かる。なかでも馬場の外めに持ち出され、加速にかかったダノンマッキンリーは目を見張る末脚を發揮。内ラチ沿いで逃げ粘るウインカーネリアンを一気に呑み込むと、後方から追い込んだオフトレイル、トゥラヴェスーラの強襲も抑えてゴールに飛び込んだ。